

実務経験のある教員による授業科目一覧表(グラフィックデザイン科)

| 授業科目名 | 授業時間数 | 履修年次 | 授業内容 |
|--|--------------------|------|--|
| タイポグラフィ | 72 | 1年次 | 広告代理店の制作部でグラフィックデザインを担当した教員がレタリング技能検定の指導する。また検定後は、文字のデザインの基礎からロゴタイプのデザインのバリエーション展開の実習を行う。 |
| 広告デザイン I | 72 | 1年次 | デザイナーとして広告デザインや各種企画書などの制作実績を有した教員が、広告デザインの媒体別基礎知識と企画書の作成とともに市場調査分析やポジショニング、ターゲットの設定などに基づくコンセプトメイキングから、カンプの表現手法までを指導する。 |
| DTP基礎 | 72 | 1年次 | 広告代理店の制作室でグラフィックソフトを使用し制作してきた教員が、IllustratorとPhotoshopのアプリケーションソフトの基本操作法を印刷物制作課題の制作を通して指導する。 |
| セールスプロモーション II | 36 | 2年次 | 広告代理店においてクリエイティブディレクターとして広告の企画からマネジメントまでを担当した実務経験のある教員が、マーケティングからターゲットの分析、設定、チャート作成、企画書作成、プレゼンテーションまでの一連の流れを指導する。 |
| 実務経験のある教員等による授業科目 《省令で定める単位数等の基準数相当分》 | 1600 × 0.1 = 160 < | 252 | |

実務経験のある教員による授業科目一覧表(メディア映像デザイン科)

| 授業科目名 | 授業時間数 | 履修年次 | 授業内容 |
|--|---------------|------|--|
| ホームページ基礎 | 96 | 1年次 | Webサイト制作会社で制作経験のある教員が、Webサイトが稼働する基本的な仕組みや制作技術について指導する。また、Webサイト制作者としての基礎知識や用語を解説する。 |
| 3DCG基礎 | 156 | 1年次 | 3DCG制作の実務経験のある教員が、Mayaの基本的な操作法を指導する。3DCGに必要とされる素材作りの基礎的な操作法を身につける。 |
| 映像基礎 | 96 | 1年次 | 映像制作会社で撮影編集の実務経験のある教員が、映像を撮影するためのカメラワークの操作方法とワークステーションで編集作業を行う映像制作の基礎工程を実制作を交えて指導する。 |
| 映像編集 | 36 | 2年次 | 映像制作の実務経験がある教員が、AfterEffects等の映像編集ソフトを駆使したモーシオンやエフェクトの操作法を指導する。 |
| 実務経験のある教員等による授業科目 《省令で定める単位数等の基準数相当分》 | 1600×0.1=160< | 384 | |

実務経験のある教員による授業科目一覧表(ファッションデザイン科)

| 授業科目名 | 授業時間数 | 履修年次 | 授業内容 |
|--|---------------|------|--|
| ファッションビジネス論 I | 60 | 1年次 | 百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、ファッション産業の仕組みや特性について解説する。 産業構造、ビジネスの特性と変遷、社会と消費者の変化等、業界全体の現状を把握し、業態別ビジネスの特性、MD基礎知識とブランド展開についての基礎的な知識を身に付ける。 |
| ソーイング | 120 | 1年次 | アパレル生産企業にて既製服の縫製、アパレルCAD、パターン修正等の実務経験のある教員が、アパレル生産の基礎を指導する。職業用ミシン、工業用ミシン、ロックミシン、工業用アイロン等の操作方法を身に付け、スカート、パンツ、シャツ、ジャケット等の基本的なアイテムの構成を理解し、演習を通して既製服の縫製技術を身に付ける。 |
| マーチャンダイジング論 | 24 | 2年次 | 百貨店において、接客販売、バイヤー、セールスマネージャーの実務経験を持つ教員が、マーチャンダイジング理論を解説する。 業界全体の流れを把握し、アパレル企業、及び、小売企業におけるマーチャンダイジングの特性と業務フローを理解し、企画、品揃え、販売計画立案の手法を学ぶ。生活者のライフスタイルにおけるの洞察力を高め、察知した商品を見現化し、売れるように仕組む演出力、技術を修得する。 |
| 実務経験のある教員等による授業科目 《省令で定める単位数等の基準数相当分》 | 1600×0.1=160< | 204 | |

実務経験のある教員による授業科目一覧表(建築・インテリアデザイン科)

| 授業科目名 | 授業時間数 | 履修年次 | 授業内容 |
|--|---------------|------|--|
| 建築計画 I | 32 | 1年次 | 建築設計業務に携わった経験を持つ教員が、設計を行う上で必要となる基本的な寸法や各部の要点について解説した後、生活の基盤となる住空間から各種建築物にわたる様々な建築物の特徴や計画要点について解説を行う。 |
| 一般構造 | 36 | 1年次 | 現役建築士が、監理業務において担当した実例や現場での経験談を交えながら、3つの主要な構造(木造・鉄筋コンクリート造・鉄骨造)の概要や構成、材料の特徴・特性等について講義する。 |
| 建築材料学 | 32 | 1年次 | 建築設計事務所に勤務し、建築設計、コーディネートの実務経験をもつ教員が建築材料の歴史や概要を解説、また材料の特徴、特性について講義し、その使われ方、用途等を建築現場経験を基に解説する。 |
| 施工 | 36 | 1年次 | 現場監督として勤務経験を有する教員が、建築工事着工前から完成に至るまでの工程全般に関して、基礎的知識や概要等を解説する。具体的には、施工計画の工程表作成方法や、材料管理・品質管理の考え方、各工事ごとの要点や種類・規定の詳細を図式やイラストを用いて理解を深める。さらに、コストの検討や測量方法、契約や仕様書の概要も解説し、建築工事全体の流れも講義する。 |
| コーディネート演習 I | 36 | 1年次 | 住宅メーカーでコーディネーターとして勤務経験を有する教員が、インテリアコーディネートの基礎を解説しながらコーディネートボード作成の実習を指導する。具体的には、インテリア構成要素の分析方法を学習し、実習として空間イメージボード・抽象イメージボード・外観イメージボードの作成を行う。最後に、自室空間のリフォーム提案の課題を通し、空間寸法の読み取り方や平面図作成の基本修得、イメージを他者に伝える為のボード作成方法を学習する。 |
| 建築設備 | 36 | 2年次 | 設備設計事務所での勤務実績がある者が、その経験を生かし建築設備(給排水・冷暖房・換気・電気・防災)の基本的知識の理解を目標にし、建築物における設備の重要性を説く |
| 卒業制作 | 336 | 2年次 | 建築設計、施工及びインテリアコーディネーターなど空間デザイン分野の実務経験をもつ教員により、学生各自が自由に設定したテーマに対し、これまで習得してきた建築やインテリアなどの空間デザイン領域に関する専門的な知識や技術、感性、表現等を使い、これからの社会への問題提起・解決に向けての提案を行っていく。 |
| 実務経験のある教員等による授業科目 《省令で定める単位数等の基準数相当分》 | 1600×0.1=160< | 544 | |